

第 3 期事業年度 (平成18年度)

決 算 報 告 書

自 平成18年 4月 1日
至 平成19年 3月31日

国立大学法人 岩手大学

平成18年度 決算報告書

国立大学法人 岩手大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	7,387	7,387	0	(注1)
施設整備費補助金	857	857	0	
補助金等収入	108	144	36	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	42	42	0	
自己収入	3,772	3,835	63	
授業料、入学料及び検定料収入	3,610	3,636	26	(注3)
財産処分収入	9	17	8	(注4)
雑収入	153	182	29	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	745	985	240	(注6)
目的積立金取崩	106	100	-6	(注7)
計	13,017	13,350	333	
支 出				
業務費	7,899	7,947	48	(注8)
教育研究経費	7,899	7,947	48	
一般管理費	3,366	2,936	-430	
施設整備費	899	899	0	
補助金等	108	144	36	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	745	944	199	(注10)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	8	8	(注11)
計	13,017	12,878	-139	
収入 - 支出	0	472	472	

予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金収入については、平成18年度収入額7,384百万円、前年度よりの繰越額3百万円となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国等からの補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が36百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成19年度入学者に係る授業料の前納分が予定以上に多かったことなどにより、予算金額に比して決算金額が26百万円多額となっています。
- (注4) 財産処分収入については、平成17、18年度に分割して譲渡した土地の平成18年度分収入であるが、予定以上の金額で譲渡が行われたため、予算金額に比して決算金額が8百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、動物病院収入の増収等により、予算金額に比して決算金額が29百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託・共同研究や寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が240百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、財産取得に際して予定以下の金額で契約が行われたため、予算金額に比して決算金額が6百万円少額となっています。
- (注8) 業務費については、一般管理費において経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が430百万円少額となっています。一方、教育研究経費において一般管理費の節減分を教育研究の活性化に充てたため、予算金額に比して決算金額が48百万円多額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が36百万円多額となっています。
- (注10) (注6)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が199百万円多額となっています。
- (注11) (注4)の財産処分収入のうち、国立大学財務・経営センターへの施設費納付金として8百万円の決算額となっています。